大分市報

毎月1日15日発行
発行所　大分市役所
編集兼発行人　安東玉彦
印刷所　高木印刷KK

（寫真＝伸びゆく大分市）

大分市の人口
（11月1日現在）

男	58.715人
女	61.914人
計	120.629人
世帯数	27.095
戸数	22.532

年頭のご挨拶

大分市長　上田保

昭和三五年は豊作と好景気の記録を破つて、経済発展の歓声のうちに年を越しました。市民各位におかれてもよいお正月を迎えられたこととお喜び申上げます。

大分市としては単にわが国一般の好景気に伴つての発展というばかりではなく、市自体の情勢に大きな発展気運が起つたことを視さなければなりません。即ち農業県から商工業県への転換という県政の飛躍が、大分市の持つ地の利と合流して、われわれの念願し続けた大大分市実現の情勢となつたのであります。

具体的に申せば臨海工場地帯の造成、利用が現実の段階に入り、更に進んでは全国的な産業計画の一環としてこの臨海工場地帯が研究に取り入れられているのであります。戦災当時を回想すると今日の現況はまことに天地の差と思えるのであります。

こうした楽しい明日を迎えた大分市でありますが、しかしそれは決して自然に与えられた幸運とは思えません。県民市民の一致した熱烈なる発展意欲が日本復興の春に逢つて開花したものと信じます。

大分市から申せば戦災の不幸を転じて見事に幸福をかち取つたのであります。市民各位は祖先に対して誠に面目ありと申すべきでしょう。此の意味に於て私は皆様方に絶大な敬意を表したいと存じます。

かような喜びを以てわれわれは新年を迎えました。しかしただ喜んでいるだけで大大分市が実現しようとは思えません。前途は決して平坦な降り坂ではありません。大きな孕みにはそれに相当する困難の伴うことは誰でも知る所であります。私は皆様と共に此の困難克復という愉快な大事業に立ち向いたいと張り切つています。

前にも一言されましたように、県政のひざもとである大分市は、そうした地の利をただ与えられた特権として安易に享楽するだけではならないと私は信じます。何処よりも身近に県政に接触する大分市なればこそ、真先に県政に協力すべきだと常々自分に云い聞かせているのであります。現代の政治は民意の政治でありますから、県民の意欲も協力も大分市によつて始められ導かれたいと念願するのであります。その事は決して他の市町村を軽視する意味ではありません。われわれ市民の心構えの問題としてから申すのであります。

後進未開と呼ばれた東九州に今こそ暁の光がさし初めました。光は大分鶴崎の海岸から広がります。後世の人は云うでありましょう「一九六一年東九州の夜は大分から明け初めた」と。

市民の皆様、私は過去幾年新年のご挨拶を申し上げました。それは張りつめた気持で皆様のご努力を願うことを主旨としたものでありました。今年始めて楽しい気分でお祝いを申上げることが出来ます何故ならば今後の苦労にはそれに何十倍する成果が裏付けられているからであります。

皆様、どうか益々お元気でそれぞれの道によつて大大分市完成へお進み下さるよう、この上ともご努力をお願い致します。

最後に皆様方のご多幸をお祈り致します。

新年のご挨拶

大分市議会議長　川上勘一

市民の皆さん、明けましてお目出とうございます。

連続七年の豊作と我が国経済の上昇に幸いされ、悠なく越年せられて落着いた新春を迎え、本年もまた幸先を約束されたようで、誠にご同慶の至りに存じます。

本年は我が大分市にとりまして記念すべき年であり、飛躍を約束される年でもあります。

大分市が人口三万一千余りの市として明治四十九年四月一日誕生して以来本年が丁度五十年に当るのでありますが、思えばその間市政において隨分うよ曲折があつたことと思います。わけても、私共の記憶に新しいあの戦災に遭遇し、市民ひとしく塗炭の苦しみを味わつたことは皆様ご承知の通りです。然し乍ら、市民が協力一致して努力いたしました結果、年々都市の形態も整い、東九州の表玄関として、今や時代の脚光を浴びて参つておりますが、都市の建設は誠に至難で、一朝一夕に成るものでないことを痛感いたしております。しかるに、五十年の永い年月多くの先輩の方々が、郷土建設のため創意工夫をこらし、たゆまない努力を続けられた結果が今日の大分市をもたらしたものでありまして、五十周年の記念すべき新春に当り、先輩の方々に対し心から感謝の意を表する次第であります。

昨年は衆議院議員の総選挙が行なわれましたが選挙は種々な事情のため、定めし気遣いも多かつた事と想像いたしております。稍々もすれば選挙のしこりがその後の市政の面に現われて何かと禍いをするものでありますが、大分市の場合はそうした弊害の少しもないことを喜んでおります。

地方選挙後の市政を振り返つて見ましても、むしろ円滑な市政が行なわれ、工場誘致等では例のない実績をおさめております。即ち、新光てん菜糖大分工場の第一期工事、日本トーライト大分工場、県酪農の乳製品工場等何れも完工して既に盛んな操業をいたしておりますし、また椎茸で有名な森産業のマッシュルームの工場も完工して本月より操業を開始する段階になつております。これも県を始め、会議所の方々並びに地元関係者のご協力の賜でありまして、厚く感謝申し上げます。

地方団体である市が財政を豊かにして、市行政を円滑に運営するためには、どうしても工場誘致をしなければなりません。

政府においては、広域都市建設法を国会に提案し、現在国会で審議中とのことでありますが、この法案は、我が国に自然発生した工場地帯はそのままにして、将来の工場地帯を国の法律によつて規制し且つ造成しようとするものでありますが、当局の話によれば、九州では我が大分鶴崎の臨海工場地帯がその中に含まれているとのことであります。聞くところによりますと、この工場誘致につきまして大野川、大分川の水量が工場設立に対し、大きな魅力となつているようであります。なお、陸、海、空の交通の便等が工場誘致の条件に合致しておりますので、大工場の誘致も必ずや近い将来に結実するものと信じております。政府当局者の構想としては、五十万ないし七十万の人口を擁する一大工場群の形成を予想しているようであります。従つて、本年は大分市の経力を結集して、これが実現の基礎固めをする覚悟でありますので関係者の絶大なるご協力をひたすらにお願い申し上げる次第であります。

一月十五日は成人式
該当者には案内状

一月十五日は「成人の日」ですこの日新しく成人式を迎える方は市内に約二千人います。

市教育委員会では、これらの方々へ成人式出席の案内状を、もれなく差し上げることにしています案内状は一月五日頃まで、お手許に届く予定ですが、そのころまでに届かない方があれば、名簿もれくの自治委員または自治運営委員までご連絡下さい。

成人式は一月十五日、荷揚町の県体育館で行なわれますので、該当者は全員参加して、新しい人生の門出をお祝いしましょう。

消防出初式

昭和三十六年消防出初式は一月六日午前八時から行なわれます。

当日は駅前の産業通りに全市の消防団員約七百人と消防自動車や手引ポンプ車など三十七台が集合し、中央通り—昭和通り—市役所正門前—荷揚町小学校と市中行進を行ない同小学校で人員、機械の点検を行ないます。次いで県庁の堀で水勢試験を実施した後荷揚町小学校で三十年以上の勤続者表彰式などを行ないます。

表彰を受ける者は、三十年以上勤続者一名、二十五年以上二名、二十年以上一名、十五年以上三一名、十年以上四二名、優良団員三九名、十五年以上勤続退団者九名、三年以上退団者三一名の延一七一名となつています。

タビなど清心園へご寄贈

十二月十九日匿名の方から大分郵便局消印のある小包郵送で足袋編靴下十二足を清心園の老人にご寄贈下さいました。このほか本年一月もご恵贈戴いております。紙上をもつて厚くお礼申上げます。

工業統計調査を実施

毎年行なう工業統計調査を、本年も十二月三十一日現在で実施いたします。この調査は市内の製造業を営む工業事業所について、三十五年中の生産高や従業者数、経費などを調査して、わが国の製造業の実態を明らかにする、いわば工業の国勢調査ともいわれる大事な調査です。

一月四日頃から各事業所を調査員が訪問して、調査票をお配りしますので、何卒よろしくご協力下さるようお願いします。

建設業者へお知らせ

昭和三十六年度において大分県知事の発注する建設工事に入札参加を希望する建設業者は請負資格認定のため、本年一月三十一日まで必要書類二部を大分土木事務所に提出して下さい。提出書類など詳しいことは同所にお問い合せ下さい。

高崎山元旦登山会に参加される方は、一日の午前五時まで大分郵便局前にお集まり下さい。

○お正月は家族そろつて楽しみましよう
○お正月は国旗をかかげてお祝いしましよう
○新年から家計簿をつけて合理的な生活をしましよう

大分市新生活協議会

分譲住宅の申込受付

大分県住宅協会（県建築課内）では、東大分牧団地の住宅分譲の申込受付を一月五日から十一日までの間に行ないます。

希望者は早目に住宅協会へお申込み下さい。

この分譲住宅は東大分小学校南側に十六戸建築中のもので、建坪は十二坪から十六坪までで、譲渡価額は土地つきで六八万六千円から八五万五千円までとなつております。自己資金は登記料と公庫利子を含めて二八万六千円から三六万五千円まで、償還期間は一八年以内となつています。

申込手続きその他詳しいことは住宅協会へお尋ね下さい。

刃物は持つまい持たせまい

「刃物を持たない運動」に協力しましよう

国民健康保険事業　半年の動き

治療費総額　五千五百七十五万余円

大分市国民健康保険課では四月から九月まで半年間の大分市の国民健康保険の実績を調べていましたが、このほどまとまりましたので、その概要をお知らせします。

ご承知のように大分市の国民健康保険は昨年四月一日に開始し、被保険者の方や医療機関その他各方面の協力で、順調な運営を進めており、被保険者の早期受診、早期治療の効果をおさめ、健康の増進に、役立つて来たことと思います。

一人が約一・二回治療を受けています。

国民健康保険は市内在住者のうち他の健康保険のない方を被保険者として運営しており、その数は九月末で四万七百七十人、世帯は一万二千五百四世帯となつていますこの方々が病気やけがをして治療を受けた回数は九月までの半年間で四万八千九百二件で、この数は被保険者一人が約一・二回、また、世帯では一万二千五百四世帯の七三％にあたる九千百二十八世帯が治療を受けたことになります。

また、これらの総医療費は五千五百七十五万五千百円で、被保険者一人当り千三百六十七円の治療費がかかつたことになります。これを病類別に分けると別表の通りです。

このうち市で支払つた金額はその半額の二千七百八十七万七千五百円になります。その他助産費として子供さんの生まれた方に一千円葬祭費として被保険者の方が死亡したときに一千五百円を差しあげていますが、半年間にこの額は助産費十九万円、葬祭費十九万六千五百円で、直接被保険者の方に給付した金額は治療費、助産費、葬祭費合せて二千八百二十六万四百円で、収入率は八四・三％となつています。しかし、この収入額は前記の給付費支払総額二千八百万円に対して六〇％の状況です。

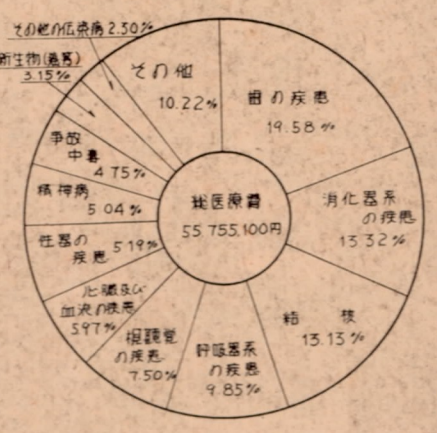
以上、半年間の大分市国民健康保険事業の概要をお知らせしましたが、被保険者の方の病気やけがによる治療費が予想以上にかさみこのままでは財政面において、保険事業の運営が苦しくなつて来るのではないかと思われます。被保険者の方々にはたびたび保険税納入についてお願いして来ましたが未納の方は是非完納していただき国民健康保険事業の健全な運営にご協力下さるようお願いします。

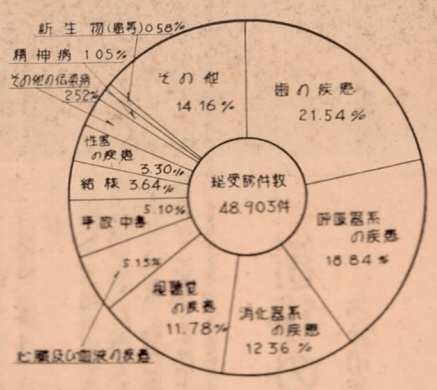
なお、これからますます寒くなりますので、感冒には特に注意していただき、病気にならないように、又、もし病気になつたときは保険を利用し早く治療して、元気にこの冬をすごして下さるようお祈りいたします。

このほか医療機関にやや不便な机張原、庄の原地区で、医師会、歯科医師会の協力を得て健康相談を行ない、百余名の方の疾病について相談に応じました。

保険税の収入率は八四、三パーセント

一方保険税については被保険者の方々のご協力により、大体順調な成績を見ており、半年間の調定額二千四十二万八千七百円に対し収入額は一千七百二十二万四千六百円で、収入率は八四・三％となつています。しかし、この収入額





みんなで守ろう　新道路交通法

新しい道路交通法は去る二十日から施行されましたこれからは運転手さんも、歩行者もこの新しい法律に従つて、交通秩序を保つていくわけですが、この法律ができてから日も浅いので、まだまだ、これがみなさんに徹底していないようです。

大分警察署でも、昭和通りをモデル地区として、諸車の交通指導にあたりましたが、特に次の事が守られていないようです。運転手さんも一般の歩行者も、みんなでこの法律を守り、正しい交通秩序を維持するように心がけましょう

諸車の関係

①道路の中央線から左側の部分を通りましょう。

②横断歩道を歩行者が通つているときは、一時停車または除行しましょう。

③車が歩道に入ることができるときは、直前で一時停車しましょう。

④ふみ切りでは必ず一時停車して安全を確認しましょう。

⑤交さ点で右折する場合は、原付第一種、自転車、リヤカー等は交さ点の側端にそつて大きく右折しましょう。原付第二種以上の車は、交さ点の中心点の右内直近を小廻りしましょう。

⑥交さ点で左折する場合、すべての車は除行しながら小廻りしましょう。

⑦自転車に乗つている方は、左折右折する場合、必ず手の合図をしましょう。

⑧自転車には、後部反射器をつけましょう。

歩行者の注意

①右側端を歩きましょう。

②歩道のあるところでは、必ず歩道を歩きましょう。

③道路を横断する場合には横断歩道の付近では、必ず横断歩道を歩きましょう。

車の直前、直後の横断はやめましょう。

斜横断をやめましょう。

写真＝交通指導をするお巡りさん（昭和通りで）

寄付のお礼

このたび市社会福祉協議会は次の方々から香典返しにかえて金一封のご寄付をいただきました。紙上をかりて、ご芳志のほど厚くお礼申し上げます。

小橋多一郎殿　本町一丁目
小林安子殿　勢家本町
佐藤健一殿　上野南二組
河野倉喜殿　明礬町
菅久光明殿　長浜西
澤口芳英殿　三ケ田町
川崎直明殿　千才岡ノ下
副島正男殿　今津留
富田岩蔵殿　中島五条
菊池　栄殿　長浜西

議会だより

碩田、王子、上野ケ丘中学の校舎増築などきまる

大分市第四回定例市議会は、十二月十九日から会期二日間で開催されました。

開会第一日目は、安部産業観光、横本建設、久野総務各常任委員長から閉会中審査となつていた陳情　三件、請願　三件の審議結果の報告があり、これを討論して採決した結果、各常任委員長の報告通り陳情　二件、請願一件を採択しました。

このあと、追加更正予算案（一般会計で総額九億五千三百九十六万四千六百三十六円）など十八議案が一括上程され、これに対する上田市長の提案理由の説明がありました。つづいて、市政一般に対する質問が行なわれ、翌二十日は、委員会審議と討論採決が行なわれ会議を終りました。

この会議で議決された主な議案は次の通りです。

▽…予算関係…△

一般会計の追加額は四千四百七十二万余円で才出の主なものを拾つてみると市庁舎増築費八百三十五万円、碩田中学校、王子中学校、上野ケ丘中学校の校舎増築費として三千百二十九万余円、社会福祉費四百十万円、その他となつています。なお、これら追加額の財源としては、地方交付税二百五万余円、教育費の国庫負担金一千二百四十九万余円、繰入金二百三十五万円、市債二千五百九十万円などがその主なものとなつています。

▽…主な一般議案…

①国民健康保険税の月割課税の算定について国の準則が改正されたための「大分市国民健康保険税条例の一部改正」　②市営住宅建設のための「土地の買収」と「工事請負契約の締結」　③今津留の県市営住宅前に新設した道路の「市道路線の認定」　④碩田中学、王子中学、上野ケ丘中学の校舎増築事業　⑤水道の給水人口を二〇万人とするための水道拡張事業の施行　⑥市庁舎を一、八四五平方メートル増築する事業の施行とこれに伴う継続費の設定　⑦中学校用机及び腰掛等を購入する予算外の義務負担について　⑧旧市営大津住宅用地の売却

なお、選挙管理委員と補充員の任期満了に伴い、次の方々がそれぞれ選任されました。

▽…選挙管理委員…△

後藤綾太氏（金池町）　潟辰吉氏（堀川町）　町田武男氏（上村）　日下繁氏（西春日町）　補充員…猪原正人氏（旭町）　佐藤幸三氏（荷揚西）　牧一郎氏（舞鶴町）　関健氏（南下郡）

西洋野菜なども出品

第五回　園芸共進会おわる

第五回大分市園芸共進会は去る十九日から三日間、荷揚町の県教育会館で開催されました。

会場には、市内の農家が丹せいこめて作つた野菜二五〇点、ミカン九十一点、花キ五十五点が出品されたこれら出品物は一般の方へ驚くほどの安値で即売されましたが、品物がいずれも逸品ぞろいとあつて、またたくまに売りつくし、次々に売約済の赤札がはられていきました。

写真＝園芸共進会

当日審査にあたつた関係者は「今年の共進会は、清浄栽培された洋菜類の出品が目立ち、また花キでは新人の栽培による高級花キが多く出品され、果実では、ミカンの品質がいちぢるしく向上されていた」と語つています。

共進会の入賞者は次の通りです

（敬称略）

そ菜の部

△特等　野村勝（八幡）　橋本武雄（中津留）　△一等　三重野幸夫（中津留）　外七名　△二等　栗林友則（千才）　外一七名　△三等　高津光一（稚追）　外五八名

花キの部

△特等　佐々木勘助（上白木）　△一等　河野学（中津留）　△二等　冨騎一郎（日岡）　外二名　△三等　高岩成男（机張原）　外八名　一団体

果樹の部

△特等　園田寛（志手）　△一等　園田明（志手）　外二名　△二等　長野高天（上八幡）　外七名　△三等　園田駒次（志手）外二〇名

放送される　高崎山のサル

九州と四国、関西を短時間で結ぶ南日本国道の建設計画がただ今神戸市、大分市を含む沿線各都市を中心としておしすすめられています。

この道路は神戸市を起点として徳島―松山―大分―宮崎―鹿児島間を結ぶものでこれが完成すれば大分市からも自家用車で瀬戸内海の風光を賞でながら快適なドライブができ又大分市に与える経済的な効果は大きなものがあると期待されています。

しかしながらこの計画は一般にあまり知られていないので、地元一般人に呼びかけ更にこの建設計画をおしすすめるため、神戸市の企画で一月三日午前十時から一時間ラジオ大分を含む民間放送局八局のリレー放送により各地の風物詩が「夢の南日本国道を結んで」と題して放送されることになつています。

大分県からは当市の高崎山のサルと佐賀関製錬所が放送されますので、お暇の方はダイヤルを一〇〇〇キロサイクル、ラジオ大分におあわせ下さい。

部落公民館めぐり　No.4

三ケ田町部落公民館

大道トンネルを南大分側にぬけて百メートルほどゆくと右手に「わかば公園」が静かな緑の広場をつくつています。その公園の中にとのほど完成した三ケ田町公民館が美しい容姿をみせています

設計には市長さんのセンスが多分にはいつているそうで、室内の構造、調度品などは部落公民館の中で唯一のものといえましょう。ちよつとした芸能発表ならどんなものでもという近代的なステージ工夫された日本間、映写室も設置されているというゆきとどきようです。

〈活動状況〉

十二月一日の開設。文字どおり発足したばかりの公民館ですが、人々の学習意欲はきわめて旺盛です。開設日には、まずお年寄りにわれらの公民館をみていただこうと敬老会を開いて年寄りからよろこばれました。また、十二月十四日には、移動公民館を開いて社会教育映画「村のおふくろ」「うわさはひろがる」などの映画をみなで楽しみ、園田、佐々木両社会教育主事から、「明るい家庭づくり」「住みよい町づくり」についての講演をききました。こういう会にはあまり出席しない男子の壮年層も多数参加して学習意欲のもりあがりを示しました。新しい公民館の今後の発展が期待されています。

・館　長　宇野薫氏
・所在地　三ケ田町一六五
・世帯数　二五〇世帯
・人　口　一、二五〇名
・開　設　昭和二十五年十二月一日
・規　模　建坪二五坪　三室　一八〇人収容

写真＝三ケ田町公民館

第4回　大分市民雪中登山会

とき　一月二十二日
ところ　由布山
会費　二〇〇円（バス汽車賃）
集合場所　トキハ前、午前六時集合
準備　登山靴又はこれに準ずるもの、厚手の手袋、昼食
申込　参加希望者は一月二十日まで氏名、年令、住所、性別、職業、勤務先を明記し、会費をそえ金池町の市教育庁保健体育課へ申込むこと。